

1200年近くの歴史を持つ古社

大／阪／の／建／築／ま／ち／あ／る／き —— 「東大阪」

わかえかがみじんじゃほんでん
若江鏡神社本殿



拝殿正面



向拝部拡大



斜めから見た拝殿



社号標



狛犬

所在地： 東大阪市若江南町 2-3-9
最寄駅： 近鉄奈良線若江岩田駅から南へ
徒歩約 20 分
文化財指定等： 東大阪市指定有形文化財
TEL： 06-6721-2340

若江鏡神社は、近鉄奈良線若江岩田駅の南南西に位置しており、平安時代の記録『延喜式』に載せられている古社のひとつである。祭神は大雷大神・足仲彦命・息長足姫命でその創建は不明だが、『文徳実録』の斉衡元年（854）には、『河内之国大雷火明之神從五位下』と記されており、約1200年近くの歴史を持つ、古社だと考えられている。

また、本殿の奥にある『鏡塚』には、鎌倉時代の石塔の一部が残されており、「神功皇后が三韓より凱旋のとき、鏡を埋めた所」と伝えている。『河内国内神名帳』には、從三位と記載され、南北朝の争乱期以降に河内守護となった若江城主の畠山氏が大いに崇敬したと言われている。

その後、大阪夏の陣の兵火に遭って社殿を焼失し、文政11年（1828年）に再建されたと伝えられている。本殿は、銅板葺き三間社流造りだが、実際は一間社流造りの社殿を二棟つないだもので、中間は板壁で囲まれた相殿となっており、文化・文政期の社殿建築の特色を示している。なお、御神体はまつられていない。

この建物は社殿にかけられていた「斗帳」二帳とともに、貴重な江戸時代の社殿建築として、昭和49年3月25日に市の有形文化財に指定されている。

（甲斐一行）